

平成27年度 事業報告書

事業名	ミュージカル「山界の黎明」								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	ホールが発行している情報誌(毎月1回第3日曜日に山梨日日新聞内に掲載)でのPRをはじめ、山梨日日新聞への有料広告出稿を行った。その他、国民文化祭やまなし2013に関わった団体を通じて集客を図った。 また、甲府市内を中心に公共ホールや市民センターにチラシやポスターを配布し、PRに協力をしてもらった。
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )映画演劇文化協会								総事業費	2,590,000円
事業の概要 (出演者など)	国民文化祭やまなし2013のオープニングを飾ったダンスパフォーマンスを、作品の作・演出を担当した文学座演出家、望月純吉氏がミュージカル作品として再構成するもの。東京と山梨の2会場で公演する。作品には、山梨県で活動する舞台アーティストや学生らとプロの俳優、ダンサーが出演。映画演劇文化協会と当共同事業体の共同制作作品となる。								入場料収入	
事業実施状況 4月5日	(具体的な実施状況)								助成金・補助金等	
	2014年 10月	11月	12月	2015年 1月	2月	3月	4月	5月	その他収入	
	山梨県出演者オーディション		都内での稽古スタート		東京出演者オーディション		26日東京公演 シアター1010		自己財源	
									実施手段(学生)の問題	プロのミュージカル俳優に県内のアマチュアが参加して制作した作品。県内の出演者の中に県立高校の生徒がおり、都内での公演や稽古の参加のため公休取得手続きなどが難しかった。最終的に学校長の理解を得ることができ、対象者には良い経験をしてもらえたと考えている。
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年 1月	参加者・観客者の数	国民文化祭やまなし2013のオープニングを飾ったダンスパフォーマンスをストーリー化してミュージカルに再編した作品。国文祭でパフォーマンス目にした観客に作品に込めたメッセージを改めて伝えることとなり、高い評価を受けた。また、県内のアマチュアダンサーや演技者が、プロフェッショナルとともに舞台に立つことを通じて、レベルの高い技術や演技法を習得することができた。
入場者・参加者の数	目標入場者 400人		(内訳)						実施後の感想(1)	国民文化祭を県の文化活性化に結びつける一助となった。
			出演者	50人						
			スタッフ	20人						
			入場者	600人						
後援者名・協賛者名等									実施後の感想(2)	国民文化祭で活躍した県内のアーティストやアマチュア実演家による作品づくりに取り組むことで、国文祭の成果を地域活性化に結び付けて行く取り組みを継続して行く。

平成27年度 事業報告書

事業名	面白クラシック講座										広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	他会場で開催されていた同講座の継続受講者への案内、チラシ、ホール情報誌への記事掲載。																																																																																																																
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )																																																																																																																											
事業の概要 (出演者など) 大会議室	山梨県在住の音楽評論家、真嶋雄大さんがクラシック音楽の魅力や鑑賞の手引きを行う市民教養講座。毎回プロの音楽家やクラシック音楽に造詣の深い著名人をゲストに招き県民の音楽に対する関心を喚起する。											<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1254 406 1411 470">総事業費</td> <td data-bbox="1411 406 2016 470">675,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1254 470 1411 518">入場料収入</td> <td data-bbox="1411 470 2016 518">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1254 518 1411 566">助成金・補助金等</td> <td data-bbox="1411 518 2016 566">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1254 566 1411 614">その他収入</td> <td data-bbox="1411 566 2016 614">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1254 614 1411 662">自己財源</td> <td data-bbox="1411 614 2016 662">[REDACTED]</td> </tr> </table>	総事業費	675,000円	入場料収入	[REDACTED]	助成金・補助金等	[REDACTED]	その他収入	[REDACTED]	自己財源	[REDACTED]																																																																																																						
総事業費	675,000円																																																																																																																											
入場料収入	[REDACTED]																																																																																																																											
助成金・補助金等	[REDACTED]																																																																																																																											
その他収入	[REDACTED]																																																																																																																											
自己財源	[REDACTED]																																																																																																																											
事業実施状況 4月～3月(毎月1回開催)	<p>(具体的な実施状況)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">2015年</th> <th colspan="2">2016年</th> </tr> <tr> <th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>4月</th> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>・11日 (ゲスト: 荏村清志)</td><td>・9日</td><td>・13日</td><td>・12日 (ゲスト: 中村絃子)</td><td>・22日</td><td>・19日</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>										2015年		2016年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月				・11日 (ゲスト: 荏村清志)	・9日	・13日	・12日 (ゲスト: 中村絃子)	・22日	・19日								<p>毎月会場を探しながら独自で開催していた同講座が、ホールの音楽文化振興の目的とが落ちることから、コラニー文化ホールでレギュラー開催することになったもの。愛憎が定着したことによる受講者の拡大がはかられた。受講者の駐車代有料化や、イベント時の駐車場不足が懸念されたが、混乱なく推移している。</p>																																																																													
2015年		2016年																																																																																																																										
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																																																																																																													
			・11日 (ゲスト: 荏村清志)	・9日	・13日	・12日 (ゲスト: 中村絃子)	・22日	・19日																																																																																																																				
入場者・参加者の数	<p>(内訳)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">目標入場者</th> <th colspan="2">4月</th><th colspan="2">5月</th><th colspan="2">6月</th><th colspan="2">7月</th><th colspan="2">8月</th><th colspan="2">9月</th> </tr> <tr> <td>1200人</td><td>(各100人)</td> <td>出演者</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td> </tr> <tr> <td></td><td></td> <td>スタッフ</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td> </tr> <tr> <td></td><td></td> <td>入場者</td><td>120人</td><td>113人</td><td>113人</td><td>163人</td><td>113人</td><td>113人</td><td>113人</td><td>113人</td><td>113人</td><td>113人</td><td>113人</td> </tr> <tr> <td></td><td></td> <td></td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td> <td>出演者</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td> </tr> <tr> <td></td><td></td> <td>スタッフ</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td> </tr> <tr> <td></td><td></td> <td>入場者</td><td>113人</td><td>113人</td><td>113人</td><td>113人</td><td>120人</td><td>115人</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>										目標入場者		4月		5月		6月		7月		8月		9月		1200人	(各100人)	出演者	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人			スタッフ	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人			入場者	120人	113人	113人	163人	113人	113人	113人	113人	113人	113人	113人				10月	11月	12月	1月	2月	3月								出演者	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人			スタッフ	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人			入場者	113人	113人	113人	113人	120人	115人						<p>参加者・鑑賞者の反響等</p> <p>多彩なゲストを迎え、トークと実演で展開する教養講座は、受講者に好評。</p>	<p>コンサートホールにある会議室を会場として定着させたことから、ホールで開催するコンサートや、その他のステージアート公演との連携が図れた。</p>
目標入場者		4月		5月		6月		7月		8月		9月																																																																																																																
1200人	(各100人)	出演者	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人																																																																																																															
		スタッフ	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人																																																																																																															
		入場者	120人	113人	113人	163人	113人	113人	113人	113人	113人	113人	113人																																																																																																															
			10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																																				
		出演者	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人																																																																																																															
		スタッフ	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人																																																																																																															
		入場者	113人	113人	113人	113人	120人	115人																																																																																																																				
後援者名・協賛者名等											<p>入場者・参加者の反響等</p> <p>講座と連携した多彩なコンサートの開催や、ワークショップなどが可能な環境が整いつつある。この環境を大いに活用したい。</p>																																																																																																																	

平成27年度 事業報告書

事業名	ふるさと山梨県立ちコンサート							広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	公立施設などへのチラシ、ポスター配布。出演者、団体による集客。
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )								
事業の概要 (出演者など) 小ホール	音楽の専門教育を終了し、音楽家としての一歩を踏み出した新卒者によるコンサート。全国の音楽系大学、専門学校に照会し、新卒の山梨県出身者をリサーチして開催。出演者にステージに立つ素晴らしさを体験してもらうとともに、新進アーティストを県民に紹介することを目的に開催する。								
事業実施状況 5月24日	(具体的な実施状況)							総事業費	785,000円
	2015年 11月	12月	2015年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	入場料収入
	・実行委員会開催				・出演順抽選会				助成金・補助金等
									その他収入
									自己財源
入場者・参加者の数	目標入場者 300人	(内訳)						実施後の感想及び 反省点等	少子化の中で、音楽教育を終了し音楽家を目指す若者が著しく減少している。このため、出演者の確保が年々難しくなっている。山梨大学との連携を図るなど対応しているが、山梨大学でも本年度で芸術運営コースが廃止され、この4月から新入生が存在しない状態。
		出演者	11人						実演体験の場を提供しており、参加者には好評。特定の出演者を目的とした来場者が大半を占めるコンサートだが、この数年は、様々な演奏形態を鑑賞できるステージを楽しむ一般の来場者も増加している。
		スタッフ	25人						30年以上にわたり、スタイルを変えずに継続している。出演者にとっては、唯一の経験でありスタイルを変えないで実施することのメリットも多いが実施側にマンネリ感がある。
		入場者	250人						山梨大学との連携を進める中で、新年度は出演者を多数確保できた。今後も、県内外の教育機関との連携を図り、可能な限り継続して行く。
後援者名・協賛者名等								本年度以降の 展開・展望	

平成27年度 事業報告書

事業名	フェスタ県文ステージ祭り																																																																						
主催・共催状況	独自主催 共催あり (共催先: )																																																																						
事業の概要 (出演者など) 小ホール	山梨県にゆかりのあるプロアーティストや県内でステージアクトに取り組むアマチュアらに、ジャンルを問わず発表の機会を提供する企画。クラシック音楽、ポップス、バンド、ダンス(舞踊)、演芸部門で3日間開催する計画。																																																																						
事業実施状況 4月12日～5月2日	<p>(具体的な実施状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2015年</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・出演者説明</td> <td>・12,18日練習</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・23,24日 リハーサル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・25日 公演</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・28日 リハーサル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・29日 公</td> <td>・1日 リハーサル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・2日 公演</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								2015年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				・出演者説明	・12,18日練習									・23,24日 リハーサル									・25日 公演									・28日 リハーサル									・29日 公	・1日 リハーサル									・2日 公演			
2015年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																																																															
			・出演者説明	・12,18日練習																																																																			
				・23,24日 リハーサル																																																																			
				・25日 公演																																																																			
				・28日 リハーサル																																																																			
				・29日 公	・1日 リハーサル																																																																		
					・2日 公演																																																																		
入場者・参加者の数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>2016年</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								9月	10月	11月	12月	2016年	1月	2月	3月	4月																																																						
	9月	10月	11月	12月	2016年	1月	2月	3月	4月																																																														
入場者・参加者の数	<p>(内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>12日</th> <th>18日</th> <th>23日</th> <th>24日</th> <th>28日</th> <th>5月1日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>104人</td> <td>105人</td> <td>127人</td> <td>143人</td> <td>210人</td> <td>95人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【公演】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">4月25日</th> <th colspan="2">4月29日</th> <th colspan="2">5月2日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出演者・スタッフ</td> <td>250人</td> <td>出演者・スタッフ</td> <td>198人</td> <td>出演者・スタッフ</td> <td>348人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>500人</td> <td>入場者</td> <td>750人</td> <td>入場者</td> <td>820人</td> </tr> </tbody> </table>								12日	18日	23日	24日	28日	5月1日	104人	105人	127人	143人	210人	95人	4月25日		4月29日		5月2日		出演者・スタッフ	250人	出演者・スタッフ	198人	出演者・スタッフ	348人	入場者	500人	入場者	750人	入場者	820人																																	
12日	18日	23日	24日	28日	5月1日																																																																		
104人	105人	127人	143人	210人	95人																																																																		
4月25日		4月29日		5月2日																																																																			
出演者・スタッフ	250人	出演者・スタッフ	198人	出演者・スタッフ	348人																																																																		
入場者	500人	入場者	750人	入場者	820人																																																																		
後援者名・協賛者名等																																																																							
広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	<p>公立施設などへのチラシ、ポスター配布。出演者、団体による集客。</p>																																																																						
総事業費	3,440,000円																																																																						
入場料収入																																																																							
助成金・補助金等																																																																							
その他収入																																																																							
自己財源																																																																							
実施までに発生した問題点	<p>出演希望者が増加傾向となっているため、開催日を1日追加し3日間として出演希望者全員が舞台上で活躍できるようプログラムした。リハーサルの時間配分やスケジュール調整が難航した。また、入前で演ずるレベルに達しない出演者も一部見受けられた。</p>																																																																						
参加者・出演者の反応	<p>出演希望者が年々増加していることから、本事業が狙い通りの成果を上げていることが分かる。来場者もこれまでの目的の出演者だけを鑑賞するのではなく、多くのステージアクトを楽しんで行く傾向が見られる。</p>																																																																						
実施後の感想や次の取組	<p>出演希望者全員を舞台上に上げることに努めていきたいが、開催日を無限に拡大することは困難。以前のような抽選方式や、優れた舞台芸術の発表の場として事前審査の実施などを検討しなければならない。</p>																																																																						
今後の取組の方向性	<p>舞台芸術に取り組む県民に定着、拡大している事業であり、今後も可能な限り継続し、県内アマチュアアーティストのレベルアップに貢献する方針。</p>																																																																						

平成27年度 事業報告書

事業名	ブダペストフィル コンサート																									
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )																									
事業の概要 (出演者など) 大ホール	ドイツ、オーストリアと並び音楽文化の栄えているハンガリーから、国を代表するオーケストラ、ブダペストフィルハーモニーを招聘して開催する海外オーケストラコンサート。県民に伝統に培われた実力派オーケストラの演奏を紹介することで、オーケストラ音楽の魅力を伝える。																									
事業実施状況 6月7日	<p>(具体的な実施状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2015年</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>新聞、テレビによるPR ・チケット発売</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7日 公演</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								2015年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月			新聞、テレビによるPR ・チケット発売				7日 公演		
2015年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																		
		新聞、テレビによるPR ・チケット発売				7日 公演																				
	9月	10月	11月	12月	2016年 1月	2月	3月	4月																		
入場者・参加者の数	(内訳) 目標入場者 800人 <table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>985人</td> </tr> </table>								出演者	40人	スタッフ	30人	入場者	985人												
出演者	40人																									
スタッフ	30人																									
入場者	985人																									
後援者名・協賛者名等																										
広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	テレビCM、新聞広告などメディアによるPR。公立施設をはじめとする集客施設にポスト、チラシの配布。各種団体へのセールス。																									
総事業費	8,640,000円																									
入場料収入																										
助成金・補助金等																										
その他収入																										
自己財源																										
実施までに発生した問題点	来日を予定していたブダペストフィルの首席指揮者が家族の急病で来日せず、急遽代役による演奏会となった。指揮者の交代を事前に告知したが、チケットの払い戻し請求などはなく、無事にコンサートを開催することができた。																									
参加者・観客の反響等	代役を務めた指揮者がオーケストラから優れた演奏を引き出し、聴衆を熱狂させた。																									
実施後の感想及び反省点	クラシック音楽の伝統を伝える名門交響楽団によるコンサートで、地方都市での開催はクラシックファンにとって貴重な機会であったにも関わらず、集客は振るわなかった。																									
次年度以降の展開・展望	県民に優れた本物のアートを提供するため海外アーティストによるクラシック音楽コンサートは機会があるごとに開催して行く方針。																									



平成27年度 事業報告書

事業名	海上自衛隊東京音楽隊 コンサート								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	チラシ、ポスタの配布。																											
主催・共催状況	単独主催 (共催先: )海上自衛隊東京音楽隊										<p>整理券配布による無料公演。人気の高い公演だったため、整理券配布枚数、配布方法に注意して実施。配布当日に予定配布回数が終了したが、その後も整理券を求める人がしばらく耐えなかった。</p> <p>参加者・観覧者の反響</p> <p>無料のコンサートにおいて来場者のマナーの悪さが目立つが、本公演も同様に座席に荷物を置き一人で2席を確保しようとするなどの行為が目立った。スタッフの注意にも耳を貸さないなど入場時の混乱が見られた。こうした問題は、小額でも入場料を徴収すると解消される。心ある来場者に快適に舞台を田尾新でもらうためにも自衛隊側と有料化も検討したい。</p> <p>全国から開催要望の高い団体であるため、レギュラーで開催することは困難だが、チャンスがあればできるだけ多くの公演を誘致したい。</p>	<table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>623,228円</td> </tr> <tr> <td>入場料収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>助成金・補助金等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己財源</td> <td></td> </tr> </table>	総事業費	623,228円	入場料収入		助成金・補助金等		その他収入		自己財源																
総事業費	623,228円																																				
入場料収入																																					
助成金・補助金等																																					
その他収入																																					
自己財源																																					
事業の概要 (出演者など) 大ホール	吹奏楽演奏団体の頂点に立つ海上自衛隊音楽隊を招聘して開催するコンサート。県内の吹奏楽関係者を中心に開催を求める声が高く、関係機関に働きかけて実現するもの。入場料無料で開催し、ミルク倶楽部会員の先行整理券配布を実施した。								<p>実施までに発生した問題点</p>																												
事業実施状況 6月14日	<p>(具体的な実施状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2015年</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・会場下見 ・ミルク会員先行整理券の配布 ・一般整理券配布</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・14日 公演</td> </tr> </tbody> </table>										2015年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					・会場下見 ・ミルク会員先行整理券の配布 ・一般整理券配布													・14日 公演
2015年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																													
				・会場下見 ・ミルク会員先行整理券の配布 ・一般整理券配布																																	
								・14日 公演																													
入場者・参加者の数	目標入場者 1800人	(内訳)	<table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>1,895人</td> </tr> </table>						出演者	50人	スタッフ	15人	入場者	1,895人	<p>次年度以降の展開・展望</p>																						
出演者	50人																																				
スタッフ	15人																																				
入場者	1,895人																																				
後援者名・協賛者名等																																					

平成27年度 事業報告書

事業名	「とっておきソング」を作ろう 作曲ワークショップ							広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	ホール情報誌、ホームページ、チラシによるPR																																																	
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )								<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1245 392 1413 472">総事業費</td> <td data-bbox="1413 392 2020 472">280,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1245 472 1413 520">入場料収入</td> <td data-bbox="1413 472 2020 520">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1245 520 1413 568">助成金・補助金等</td> <td data-bbox="1413 520 2020 568">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1245 568 1413 616">その他収入</td> <td data-bbox="1413 568 2020 616">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1245 616 1413 663">自己財源</td> <td data-bbox="1413 616 2020 663">[REDACTED]</td> </tr> </table>	総事業費	280,000円	入場料収入	[REDACTED]	助成金・補助金等	[REDACTED]	その他収入	[REDACTED]	自己財源	[REDACTED]																																							
総事業費	280,000円																																																									
入場料収入	[REDACTED]																																																									
助成金・補助金等	[REDACTED]																																																									
その他収入	[REDACTED]																																																									
自己財源	[REDACTED]																																																									
事業の概要 (出演者など)	当共同事業体のアーティストックアドバイザーでもある山梨県出身の作曲家・ピアニスト 小林真人氏による作曲ワークショップ。音楽の楽しみ方を作曲の面から紹介するとともに、楽曲の仕組みなどの理解を実技を交えながら楽しみ学んでいけるワークショップを開催する。							実施までの発生し 問題点	募集早々に予定定員をオーバー。多くの方に参加を断念してもらった。																																																	
事業実施状況 7月～8月 全8回	<p>(具体的な実施状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">2015年</th> </tr> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>募集要項印刷</td> <td></td> <td>6日 第1回</td> <td>3日 第5回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>13日 第2回</td> <td>10日 第6回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>募集開始</td> <td></td> <td>20日 第3回</td> <td>18日 第7回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>27日 第4回</td> <td>24日 第8回 (楽曲の発表会と録音)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								2015年								4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		募集要項印刷		6日 第1回	3日 第5回							13日 第2回	10日 第6回					募集開始		20日 第3回	18日 第7回							27日 第4回	24日 第8回 (楽曲の発表会と録音)				参加者の集客等の 反響等	作曲という、一部の音楽愛好家しか対象にできないかもしれないと考えていたが、予想に反して楽器未経験、楽譜を読むことができないなどの一般の方も参加していただいた。参加者からは、継続開催を望む声が多く寄せられた。
2015年																																																										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月																																																			
	募集要項印刷		6日 第1回	3日 第5回																																																						
			13日 第2回	10日 第6回																																																						
	募集開始		20日 第3回	18日 第7回																																																						
			27日 第4回	24日 第8回 (楽曲の発表会と録音)																																																						
入場者・参加者の数	目標入場者 10名×8回	<p>(内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>7月</th> <th>8月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者</td> <td>48人</td> <td>110人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>		7月	8月	参加者	48人	110人	スタッフ	8人	8人	実施後の感想及び 反省点等	参加希望者が多く定員の拡大などで対処したが、多くの方に受講を断念してもらった。出席率も高く、県民のニーズに応えることができた。																																													
	7月	8月																																																								
参加者	48人	110人																																																								
スタッフ	8人	8人																																																								
後援者名・協賛者名等								本年度以降の 展開・展望	一般の生涯学習講座などでは取り上げられない分野だったためか受講希望者が殺到した。今回受講できなかった方々のために、できるだけ早い機会に同様の講座を開催したい。																																																	







平成27年度 事業報告書

事業名	スーパーフライ コンサート								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	新聞テレビなどメディアによるPR		
主催・共催状況	単独主催 美催あり (共催先: )HIP								総事業費	662,000円		
事業の概要 (出演者など)	地方都市での開催が難しい人気アーティストのコンサート。山梨県での開催を実現するため、プロモーターなど関係団体に会場費を負担することで実現したもの。									入場料収入		
事業実施状況	(具体的な実施状況)								助成金・補助金等			
9月23日	2015年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	その他収入		
										自己財源		
					2016年	1月	2月	3月	4月	実施までに発生した問題点		
	9月	10月	11月	12月						参加者・観客者の反響等	チケットがほぼ即日完売。コンサートも大いに盛り上がった。	
入場者・参加者の数	(内訳) 目標入場者 1800人								実施後の感想及び反省点等			
	出演者		6人		スタッフ		50人		入場者		1940人	
後援者名・協賛者名等									今年度以降の開催の展望	地方で開催が困難な人気アーティストを招聘する事業。今後も、プロダクション、プロモーターに働きかけ、多くのステージを招致したい。		

平成27年度 事業報告書

事業名	新垣隆・磯絵里子リサイタル							
主催・共催状況	単独主催 <b>共催あり</b> (共催先: ) 山日YBS							
事業の概要 (出演者など)	作曲家 新垣隆とヴァイオリニスト磯絵里子によるリサイタル。ヴァイオリンの名曲の数々を披露するとともに、昨年問題となった聴覚に障害を持つ自称作曲家のゴーストライターを務めていた新垣隆が自戒を込めて経験を語るトークショーとで構成。際物的ではあるが、新垣の作曲家としての才能は、音楽関係者から高く評価されており、実力派ヴァイオリニスト磯絵里子との相性も抜群で質の高いコンサートとなっている。また、新垣隆が山梨の印象を即興で作曲し披露するコーナーも計画。							
小ホール								
事業実施状況 9月26日	(具体的な実施状況)							
	2015年							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
								新垣&磯 新聞取材
								・ホール 機関紙に 記事掲載
					2016年			
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
	・山日新聞 記事掲載							
	・26日公演							
入場者・参加者の数	目標入場者 550人	(内訳)						
		出演者	2人					
		スタッフ	10人					
		入場者	638人					
後援者名・協賛者名等								
広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	新聞、テレビ、ラジオによるPR、公共ホールなど文化施設、集客施設でのポスタ、チラシによる告知。ホールの情報誌、ホームページへの掲載							
総事業費	1,910,000円							
入場料収入								
助成金・補助金等								
その他収入								
自己財源								
参加者・観客者の反響等	交響曲「HIROSIMA」をめぐるスキャンダルから話題になった新垣さんの作品を聞かせるコンサートで話題性が高く、コンサートも大いに盛り上がった。スキャンダルにまつわる話しを期待して来場した観客も多かったが、新垣さんの穏やかな音楽性が話題に勝ったコンサートとなった。							
実施後の感想及び反省点等	共演のバイオリニスト磯絵里子さんとの組み合わせが、音楽的にもトークにおいても絶妙で、客席を沸かせた。							
今年度以降の展開・展望等	クラシック音楽の枠で開催したコンサート。話題性も高いことから通常のリサイタルなどより反応のいいステージとなった。小編成のクラシックステージとして予想以上の成果が上がった。今後同様のコンサートを計画していく。							

平成27年度 事業報告書

事業名		稲川淳二 怪談話							
主催・共催状況	単独主催 (主催あり) (共催先: ) テレビ山梨								
事業の概要 (出演者など)	テレビ山梨と共催で開催する。自らの恐怖体験や伝承を巧みな話術で語る稲川淳二のトークショー。稲川淳二の怪談話はメディアを通して人気が高く、県内開催を求める声も高いため開催する。								
大ホール									
事業実施状況									
9月27日	(具体的な実施状況)								
	2015年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
	9月	10月	11月	12月	2016年				
					1月	2月	3月	4月	
	・27日公演								
入場者・参加者の数	目標入場者 1000人	(内訳)							
		出演者	1人						
		スタッフ	40人						
		入場者	610人						
後援者名・協賛者名等									
		広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)		テレビ、チラシ、ポスタによるPR。					
		総事業費		548,000円					
		入場料収入		[REDACTED]					
		助成金・補助金等		[REDACTED]					
		その他収入		[REDACTED]					
		自己財源		[REDACTED]					
		実施中に発生した問題点		怪談を話芸とするユニークなステージ。知名度もあり話題性が高かったが、集客に苦戦した。公演をPRするため、本人へのインタビューを取りテレビ山梨の番組は、ホールの広報誌で紹介するなど工夫を凝らした。					
		参加者・観覧者の反応等		怖さの中に温かさを感じさせる稲川さんの話術は、多くの来場者を喜ばせた。特に本人が度々山梨を訪れ地域に伝わる怪談の取材をしており、地元ネタを多く紹介したことも歓迎された。					
		実施後の感想及び反響等		全国での公演をマーケティングして開催を決めたが、山梨県民の反応は全国結果と異なった。ステージアートに関わる山梨県民の特殊性を痛感した。					
		次年度以降の展開・展望		本公演は、新たなスタイルのステージアートを県民に紹介する試みでもあった。全国の公演情報などを研究しながら、これからも新しい形のステージアート紹介を務める。					

平成27年度 事業報告書

事業名	ディズニークラシック								
主催・共催状況	単独主催 <del>共催あり</del> (共催先: )山日YBS								
事業の概要 (出演者など)	昨年大ヒットした「アナと雪の女王」を始め、様々なディズニー音楽の名曲をオーケストラで奏でるコンサート。山梨日日新聞社と山梨放送と共催で開催。								
大ホール									
事業実施状況									
10月18日	(具体的な実施状況)								
	2015年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
	9月	10月	11月	12月	2016年				
		・18日公演			1月	2月	3月	4月	
入場者・参加者の数	目標入場者 1000人	(内訳)							
		出演者	70人						
		スタッフ	30人						
		入場者	1,675人						
後援者名・協賛者名等									
広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)		新聞、テレビ、ラジオによるPR。ホール広報誌、ホームページへの掲載。							
		総事業費		298,000円					
		入場料収入		[REDACTED]					
		助成金・補助金等		[REDACTED]					
		その他収入		[REDACTED]					
		自己財源		[REDACTED]					
		実施までに発生した問題点							
		参加者、観覧者の反応等		アナと雪の女王のヒットで大好評だった前年に続いて開催したコンサートで集客が心配されたが、予想以上の反応で、県民にコンサート楽しさが定着した。来場者の反応も良好だった。					
		実施後の感想及び反省点等							
		次年度以降の展開・展望		仕入れの高額なコンサートだが、共催者との連携で継続開催を検討したい。					



平成27年度 事業報告書

事業名		小林響 コンサート										
主催・共催状況	単独主催 <b>共催あり</b> (共催先: ) 響鳴会								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	ポスタ、チラシによる告知。ホールの情報誌、ホームページへの掲載。		
事業の概要 (出演者など)	山梨県出身で現在カナダを中心に北米で活躍するヴァイオリニスト小林響を中心とした室内楽コンサートを招致。山梨県出身の優れたアーティストを県民に紹介し、その分野のステージアートに対する興味を喚起するとともに、アーティストを地域が支える環境を構築する事業。											
小ホール												
事業実施状況												
11月1日												
	(具体的な実施状況)											
	2015年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				
					2016年							
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
				・1日公演								
入場者・参加者の数	目標入場者 500人	(内訳)								実施までに発生した 問題点	県出身で、世界の舞台上で活躍する小林響さんの公演を後援会「響鳴会」に共催して開催。ホールの広報ツールや会員組織を存分に使って告知、集客に取り組んだ。演奏曲目がコアなクラシックファン向けだったことなどもあり、思うように告知できたか検証する必要性を感じる。	
		出演者	5人								参加者・鑑賞者の 反響等	演奏は、素晴らしい来場者を感激させた。
		スタッフ	30人								実施後の感想及び 反省点等	クラシック音楽の集客の難しさを感じた。
		入場者	600人								実施以降の 展開/展望	良い音楽を鑑賞することの素晴らしさを多くの県民にしっかりと伝えるため、レクチャーコンサートや鑑賞教室などとコンサートを絡めて実施するなどの取り組みを図りたい
後援者名・協賛者名等												



平成27年度 事業報告書

事業名	第35回山の都ふれあいコンサート							
主催・共催状況	単独主催 <b>低催あり</b> (共催先: 山の都ふれあいコンサート実行委員会)							
事業の概要 (出演者など)	身体障害者の社会参加を促進するとともに、健常者の障害者に対する理解を高めるため毎年開催している事業。健常者と障害者が協力してミュージカル作品を制作、披露する。							
大ホール								
事業実施状況	11月23日							
	(具体的な実施状況)							
	2015年							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
				第1回政策打ち合わせ				
	9月	10月	11月	12月	2016年	1月	2月	3月
			・23日コンサート ・制作打ち合わせ					
入場者・参加者の数	目標入場者 400人	(内訳)						
		出演者	100					
		スタッフ	200					
		入場者	610					
後援者名・協賛者名等								
	広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)							
	コンサート実行委員会による告知。ホールの情報誌、ホームページへの掲載。							
	総事業費	985,000円						
	入場料収入	[REDACTED]						
	助成金・補助金等	[REDACTED]						
	その他収入	[REDACTED]						
	自己財源	[REDACTED]						
	実施後の地域及び反響等	<p>参加者・観覧者の反響</p> <p>障害を持つ人が、持てる力を発揮して創作する舞台で多くの来場者を感動させた。</p> <p>純粋に鑑賞を目的とした事業ではなく、広報PRに難しさを感じる。特に今回は、大ホールでの開催で集客が心配されたが、多くの来場者を迎えることができた。</p> <p>次年度以降の展開の展望</p> <p>公的助成金などが減額される傾向にあるが、そうした環境にも関わらず障害者の自立支援を目指し、関係団体が継続している事業。他県でもあまり例を見ない事業であり、これからも長く継続してもらいたい。</p>						

平成27年度 事業報告書

事業名	山梨県民第九コンサート								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	チラシ、ポスタによる告知。ホールの情報誌、ホームページを使ったPRなどに加え、出演者自身による告知に取り組んだ。																																																														
主催・共催状況	独立主催 共催あり (共催先: )									<table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>3,760,303円</td> </tr> <tr> <td>入場料収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>助成金・補助金等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己財源</td> <td></td> </tr> </table>	総事業費	3,760,303円	入場料収入		助成金・補助金等		その他収入		自己財源																																																					
総事業費	3,760,303円																																																																							
入場料収入																																																																								
助成金・補助金等																																																																								
その他収入																																																																								
自己財源																																																																								
事業の概要 (出演者など)	年末に演奏される機会が多いベートーヴェン交響曲第9番を公募による県民の演奏で開催するコンサート。平成23年度より参加者の減少、高齢化に歯止めをかけようと、合唱の初心者向け講習を開催し、合唱参加者の急増を実現している。本年度も多くの県民に演奏することの素晴らしさを体験してもらうため、合唱初心者講習を継続する方針。								<p>高校生への先生・生徒の問題点</p> <p>参加者・観覧者の反響等</p>	<p>年末恒例のベートーヴェン交響曲第9番だけでなく、高等学校文化連盟合唱部門の生徒を迎えて合唱とオーケストラによる演奏をプログラムに入れて以来、このプログラムも聞くために来場する人が増えている。第九の演奏レベルも上がっており来場者を満足させている。</p>																																																														
事業実施状況 12月13日	<p>(具体的な実施状況)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">2015年</th> <th colspan="2">2016年</th> <th colspan="4"></th> </tr> <tr> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="4">第1回実行委員会 第2回実行委員会 出演者募集開始</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9月</td> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合唱(初心者講習)4回 オーケストラ練習2回</td> <td colspan="2">合唱練習5回 オーケストラ練習3回</td> <td colspan="4">合唱練習4回 オーケストラ練習2回 12日リハーサル 13日公演</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">合唱練習5回 オーケストラ練習4回 28日発会式</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>										2015年		2016年						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					第1回実行委員会 第2回実行委員会 出演者募集開始								9月	10月	11月	12月	合唱(初心者講習)4回 オーケストラ練習2回		合唱練習5回 オーケストラ練習3回		合唱練習4回 オーケストラ練習2回 12日リハーサル 13日公演						合唱練習5回 オーケストラ練習4回 28日発会式						<p>実施後の感想及び反省点等</p>	<p>高校生を出演者として招くとともに、合唱未経験者の参加促進を図るため導入した初心者レッスンの影響で参加者も拡大。良い方向に展開できている。</p>												
2015年		2016年																																																																						
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																																																																	
				第1回実行委員会 第2回実行委員会 出演者募集開始																																																																				
				9月	10月	11月	12月																																																																	
合唱(初心者講習)4回 オーケストラ練習2回		合唱練習5回 オーケストラ練習3回		合唱練習4回 オーケストラ練習2回 12日リハーサル 13日公演																																																																				
		合唱練習5回 オーケストラ練習4回 28日発会式																																																																						
入場者・参加者の数	<p>(内訳)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">目標入場者 1000人</th> <th colspan="2">9月</th> <th colspan="2">10月</th> <th colspan="2">11月</th> </tr> <tr> <th>合唱初心者</th> <th>オーケストラ</th> <th>合唱</th> <th>オーケストラ</th> <th>合唱</th> <th>オーケストラ</th> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>235人</td> <td>220人</td> <td>650人</td> <td>260人</td> <td>630人</td> <td>389人</td> </tr> <tr> <td>指導者</td> <td>15人</td> <td>6人</td> <td>15人</td> <td>9人</td> <td>15人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">12月</td> <td colspan="2">2月(公演)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合唱</td> <td>オーケストラ</td> <td>合唱</td> <td>オーケストラ</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>685人</td> <td>250人</td> <td>300人</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>指導者</td> <td>15人</td> <td>9人</td> <td>6人</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>来場者</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">1,600人</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>*参加者、指導者数は延べ人数</p>								目標入場者 1000人	9月		10月		11月		合唱初心者	オーケストラ	合唱	オーケストラ	合唱	オーケストラ	参加者	235人	220人	650人	260人	630人	389人	指導者	15人	6人	15人	9人	15人	12人		12月		2月(公演)					合唱	オーケストラ	合唱	オーケストラ			参加者	685人	250人	300人				指導者	15人	9人	6人				来場者			1,600人				<p>今後の課題</p>	<p>合唱団、オーケストラは県内のアーティストらで十分組織できるようになっている。今後独唱のソリストをできる限り県ゆかりのアーティストとして、このコンサートを通して県民が県出身のアーティストを支える環境づくりを進めたい。</p>
目標入場者 1000人	9月		10月		11月																																																																			
	合唱初心者	オーケストラ	合唱	オーケストラ	合唱	オーケストラ																																																																		
参加者	235人	220人	650人	260人	630人	389人																																																																		
指導者	15人	6人	15人	9人	15人	12人																																																																		
	12月		2月(公演)																																																																					
	合唱	オーケストラ	合唱	オーケストラ																																																																				
参加者	685人	250人	300人																																																																					
指導者	15人	9人	6人																																																																					
来場者			1,600人																																																																					
後援者名・協賛者名等																																																																								

平成27年度 事業報告書

事業名	クリスマス ゴスペルコンサート								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	ホールの広報誌、ホームページへの掲載。出演団体によるPR						
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )								総事業費	317,000円						
事業の概要 (出演者など)	クリスマスを読めるキャロリングをミュージカル仕立てのステージショーとして構成する。県内で活動するゴスペルグループを出演者に共同で制作、開催する。									入場料収入						
小ホール									助成金・補助金等							
事業実施状況									その他収入							
12月18日									自己財源							
	(具体的な実施状況)								実施までの発生し 問題点							
	2015年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月								
					2016年											
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月								
					-17日リハーサル -18日公演				参加者・観覧者の 反響等							
									クリスマスをお祭りではなく、敬虔なものとして迎える欧米の文化を再現しうびり取り組んだ事業。古くから伝わる賛美歌などが来場者を感動させていた。							
入場者・参加者の数	(内訳)								実施後の感想及び 反省点等							
	目標入場者 400人	<table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>560人</td> </tr> </table>							出演者	70人	スタッフ	35人	入場者	560人		
出演者	70人															
スタッフ	35人															
入場者	560人															
後援者名・協賛者名等									次年度以降の 展開の展望	様々な国の文化や日本の伝統文化を伝える取り組みや、県民の文化活動を支えることのできる事業を継続的に開催する。						

平成27年度 事業報告書

事業名	驚きの立体音響～サンマルコ大聖堂の音楽～								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	チラシ、ポスタによる告知。ホールの情報誌、ホームページへの掲載。山梨大学を通してのPR。	
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: ) 山梨大学										
事業の概要 (出演者など)	山梨大学とホールとの共同研究事業。ルネサンス音楽を当時の楽器と当時の演奏様式で再現したコンサート。イタリアのサンマルコ大聖堂と類似した構造を持つ文化ホールのコンコースを使って聴衆を取り巻くように楽器や合唱団を配置して実施。失われた演奏様式が聴衆の耳にどう聞こえていたのかを再現した。								総事業費	120,000円	
共有スペース											
事業実施状況	12月18日										
	(具体的な実施状況)										入場料収入
	2015年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	助成金・補助金等	
										自己財源	
									実施後の感想及び 反省点等	古楽器を使った古楽のコンサートは、しばしば開催されるものの、当時の演奏系s期までを再現したコンサートは全国的にも珍しい。音楽好きや研究者まで幅広い来場者を向かえるなど話題を呼んだ。来場者にも18世紀のサラウンド効果を大いに楽しんでもらった。	
入場者・参加者の数	目標入場者	(内訳)									
		出演者	50人	スタッフ	10人	入場者	300人			本年度以降の 展開予定	山梨大学など教育研究期間と舞台芸術の研究や芸術運営(アートマネジメント)の研究を順次進めており、文化による地域活性化に役だてていく。
後援者名・協賛者名等											

平成27年度 事業報告書

事業名	辻井伸行 リサイタル								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	全国紙をはじめ新聞、雑誌への広告出稿。テレビ、ラジオなど県内電波メディアを使ったPR。ホールの情報誌、ホームページへの掲載。																		
主催・共催状況	単独主催 (共催先: ) エイベックスクラシック																											
事業の概要 (出演者など) 大ホール	全盲の障害を克服しアメリカのバンクライバーン国際ピアノコンクールで優勝した辻井伸行のピアノリサイタル。辻井伸行は、国際コンクール優勝直後の2009年と2012年に県民文化ホールで協奏曲のソリストとして演奏を披露している。いずれのコンサートも即日完売し、チケットを購入できなかった多くの県民から再度コンサートの開催を求められていた。									<table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>7,560,446円</td> </tr> <tr> <td>入場料収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>助成金・補助金等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己財源</td> <td></td> </tr> </table>	総事業費	7,560,446円	入場料収入		助成金・補助金等		その他収入		自己財源									
総事業費	7,560,446円																											
入場料収入																												
助成金・補助金等																												
その他収入																												
自己財源																												
事業実施状況 1月9日	<p>(具体的な実施状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2015年</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								2015年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月										実施までに発生した問題	
2015年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																				
	9月	10月	11月	12月	2016年 1月	2月	3月	4月	参加者・観客者の反響等	辻井氏の人気を反映して、チケットはほぼ即日完売。人気に裏付けられた素晴らしい演奏で来場者を魅了した。																		
入場者・参加者の数	目標入場者 1100人	(内訳) <table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>1,950人</td> </tr> </table>							出演者	1人	スタッフ	50人	入場者	1,950人	実施後の感想及び反響等													
出演者	1人																											
スタッフ	50人																											
入場者	1,950人																											
後援者名・協賛者名等									大卒以降の展開等	招聘の難しいアーティストの一人だが、所属のエイベックスクラシックとの関係を促進し、再演を求める県民の期待に沿って生きたい。																		





平成27年度 事業報告書

事業名	劇団四季ミュージカル こころの劇場									
主催・共催状況	単独主催 <b>共催あり</b> (共催先: )甲府市教育委員会、劇団四季								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	甲府市教育委員会と連携し、市立小学校全校に案内を配布
事業の概要 (出演者など)	舞台芸術の素晴らしさを子どもたちに経験してもらうため、県内の小学高学年を対象に劇団四季が優れた芝居を披露。舞台教育センター、市町村教育委員会などと連携し入場料無料で実施する。									
大ホール										総事業費 537,000円
事業実施状況										入場料収入
1月25日	(具体的な実施状況)									助成金・補助金等
2015年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		その他収入
										自己財源
	9月	10月	11月	12月	2016年 1月	2月	3月	4月		
					25日 公演					実施まで発生した問題
										参加者・観覧者の感想 公演後、出演者全員がホワイエで児童を見送るのが恒例となっている。その中を満面の笑みで送り抜ける児童の笑顔がとても満足気。
										実施後の感想及び反省点等
入場者・参加者の数	目標入場者 1500人	(内訳) 出演者・スタッフ 70人 入場者 1,660人								
後援者名・協賛者名等										スタート当初は消極的だった甲府市教育委員会や学校現場だが、8年間の連続開催で今や学校の定期行事として年間計画に組み入れられている。ホールと劇団四季、甲府市教育委員会との連携で実現している事業で今後も継続できる関係作りに取り組んで行く。



平成27年度 事業報告書

事業名	ARIA コンサート															
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )															
事業の概要 (出演者など)	山梨県出身で世界的に活躍するロックヴァイオリニスト、ARIAを中心にダンスや芝居などの多彩なステージアートを取り込んだ舞台作品を独自制作する。舞台美術には、プロジェクト・マッピングを活用しファンタジックな場面づくりを図る。文学座演出家、望月純吉の演出。映画演劇文化協会ミュージカルアカデミーの協力でダンスシーン制作。演劇は県内のアマチュアアーティストらを起用する。															
大ホール																
事業実施状況																
1月31日	(具体的な実施状況)															
	2015年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月								
	実施計画打ち合わせ				演出計画打ち合わせ											
	9月	10月	11月	12月	2016年											
					1月	2月	3月	4月								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>-PRイベント (グルメサーカス会場)</li> <li>-PR写真撮影(文化ホール)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>-27日舞台設営</li> <li>-28日映像、照明仕込み</li> <li>-29日音響チェック&amp;リハーサル</li> <li>-30日ダンス入りリハーサル&amp;通しリハ</li> <li>-31日ゲネプロ&amp;公演</li> </ul>											
入場者・参加者の数	<table border="1"> <tr> <td>目標入場者</td> <td>700人</td> <td>出演者・スタッフ</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>入場者</td> <td>1,500人</td> </tr> </table>								目標入場者	700人	出演者・スタッフ	54人			入場者	1,500人
目標入場者	700人	出演者・スタッフ	54人													
		入場者	1,500人													
後援者名・協賛者名等																
	<p>広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)</p> <p>テレビ、ラジオ、新聞によるPR。アーティスト本人による集客施設などでの事前告知(ミニコンサート、イベントへの出演)。ホールの広報誌、ホームページへの掲載。</p>															
	総事業費		16,260,000円													
	入場料収入		[REDACTED]													
	助成金・補助金等		[REDACTED]													
	その他収入		[REDACTED]													
	自己財源		[REDACTED]													
	<p>実施上の発生した問題点</p> <p>企画、校正、演出などステージの全てをホールスタッフとアーティスト本人とで制作。プロジェクト・マッピングなどステージアートの新しい潮流を取り入れながら実験的ステージとして制作した。なれない作業が多く意見や思惑の食い違いから本番を迎えるまでは、混乱の多い舞台となった。</p>															
	<p>参加者・出演者の感想</p> <p>県出身アーティストを支援し、パフォーマンスを県民に知ってもらおう試み。ARIAのライブは2回目となったが、予想を上回る多くの来場者を迎えることができた。舞台演出の工夫も含め多くの来場者に満足してもらうことができた。</p>															
	<p>実施後の感想及び反省点</p> <p>苦勞の多いコンサートとなったが、ホールの方で舞台作品を創作下結果、ホールスタッフの資質向上にも役立った。</p>															
	<p>次年度以降の展開・見通し</p> <p>県のゆかりのアーティストを県民が盛り上げる事業は、ホールの重要なミッションの一つ。今後も様々なアーティストの発掘に務める。</p>															

平成27年度 事業報告書

事業名	おかあさんといっしょ 公開録画								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	NHKのメディアによる告知		
主催・共催状況	単独主催 (共催先: )NHK								NHKのメディアによる告知	総事業費		0円
事業の概要 (出演者など)	NHKの人気幼児番組「おかあさんといっしょ」ステージコンサートの公開録画を文化ホールに招致する。「おかあさんといっしょ」の公開録画は、多くの県民から開催を要望されている。NHKに開催を要請し、実現したもの。									入場料収入		
大ホール									助成金・補助金等			
事業実施状況									その他収入			
2月6日									自己財源		0円	
	(具体的な実施状況)								実施前に発生した問題点	幼児のいる家庭から県内での開催が強く求められていた人気公演。ホールがNHKに開催を要請して実現した。開催決定後は、PR、入場券の扱いなど全てNHKの主導で進められた。入場券については、NHKのみの取り扱い(NHKの規定)となったため、ホールで扱うことができなかった。		
	2015年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				
					2016年				参加者・主催者の反響等	開催にあたり、オムツがエコーナーや授乳施設等の設置、来場者の誘導などをホールスタッフで対応した。2回公演共満席となったが、トラブルもなく実施することができた。		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月				
						・5日 設営、リハーサル						
						・6日 公演						
入場者・参加者の数	(内訳)								実施後の感想及び反響点等			
	目標入場者 1900人	出演者 20人		スタッフ 50人		入場者 3,000人						
後援者名・協賛者名等									本年度以降の開催見込み			

平成27年度 事業報告書

事業名		林家正雀 鹿芝居と落語																										
主催・共催状況		単独主催 共催あり (共催先: )																										
事業の概要 (出演者など)		江戸時代人気を博した落語家による滑稽芝居「鹿芝居」。現在は、ほとんど演じられることがなくなってしまったが、山梨県出身の林家正雀師匠を中心とした師匠たちがこの伝統を継承し、国立劇場で年一回公演を続けている。国立劇場の公演をそのまま山梨県で開催する。山梨県出身の落語家による伝統の継承活動を県民に紹介するとともに、演芸の素晴らしさを広めるための事業。																										
小ホール																												
事業実施状況		3月5日																										
		(具体的な実施状況)																										
		2015年																										
		1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月																										
		・正雀師匠と公演打ち合わせ																										
		9月 10月 11月 12月 2016年																										
		1月 2月 3月 4月																										
		・鹿芝居、会場打ち合わせ																										
		・正雀師匠 YBSラジオ出演 5日 公演																										
入場者・参加者の数		(内訳)																										
		<table border="1"> <tr> <td>目標入場者</td> <td>出演者(昼)</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>800人</td> <td>出演者(夜)</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>(2公演合計)</td> <td>スタッフ</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>入場者(昼席)</td> <td>350人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>入場者(夜席)</td> <td>300人</td> </tr> </table>												目標入場者	出演者(昼)	14人	800人	出演者(夜)	5人	(2公演合計)	スタッフ	3人		入場者(昼席)	350人		入場者(夜席)	300人
目標入場者	出演者(昼)	14人																										
800人	出演者(夜)	5人																										
(2公演合計)	スタッフ	3人																										
	入場者(昼席)	350人																										
	入場者(夜席)	300人																										
後援者名・協賛者名等																												
		<p>広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)</p> <p>新聞による告知。ホールの情報誌、ホームページへの掲載。落語愛好団体を通しての告知。山梨日日新聞への記事掲載。</p>																										
		<table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>5,028,000円</td> </tr> <tr> <td>入場料収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>助成金・補助金等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己財源</td> <td></td> </tr> </table>												総事業費	5,028,000円	入場料収入		助成金・補助金等		その他収入		自己財源						
総事業費	5,028,000円																											
入場料収入																												
助成金・補助金等																												
その他収入																												
自己財源																												
		<p>実施までに発生した問題点</p> <p>昼席を「鹿芝居」、夜席を林家正雀師匠の独演会という形で開催した。江戸時代末期からの伝統芸能として大月出身の林家正雀師匠を中心に国立演芸場で継承されている鹿芝居だが、集客に苦慮した。</p>																										
		<p>参加者・観覧者の反応等</p> <p>鹿芝居、正雀師匠の独演会とも、来場者には大いに歓迎された。</p>																										
		<p>実施後の感想等 (反省点等)</p> <p>地元出身の商家が中心となって伝承している古典芸能で、国立演芸場で高い評価を受けている。こうした遺産を県民に紹介しようと開催したが、県民に素晴らしさを伝え、理解されるまでの告知ができなかった。</p>																										
		<p>次年度以降の展開・展望</p> <p>メディアに登場せず、寄席を中心に技を磨き、落語界で高い評価を受けている県出身の斯家を県民に知ってもらい、地域が応援するという環境を実現させたい。</p>																										



平成27年度 事業報告書

事業名	「やまなしジュニアオーケストラ」育成と定期演奏会								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	入団者募集チラシ、ポスタの公共施設、集客施設への配布配布。定期演奏会のチラシ、ポスタの配布及びホールの情報誌、ホームページへの掲載。	
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )										
事業の概要 (出演者など)	やまなしジュニアオーケストラの育成と定期演奏会の開催。ホールが育成するオーケストラとして、ホールで演奏する国際的オーケストラや指揮者の指導を受けるなど、特色ある取り組みを進めている。								総事業費	2,855,951円	
小ホール他										入場料収入	[REDACTED]
事業実施状況	(具体的な実施状況)									助成金・補助金等	[REDACTED]
3月27日 (定期演奏会)	2015年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月	その他収入
										自己財源	[REDACTED]
					2016年	1月	2月	3月	4月	実施までの発生し 問題	
		9月	10月	11月	12月						参加者、鑑賞者の 反響等
										実施後の感想及び 反省点等	
入場者・参加者の数	(内訳)	【練習参加】				【定期演奏会】					今年度以降の 展開・展望
	目標入場者 400人 (定期演奏会)	4月	100人	10月	100人	出演者・関 入場者	110人	600人			
		5月	100人	11月	100人						
		6月	100人	12月	100人						
		7月	100人	1月	100人						
		8月	100人	2月	100人						
		9月	100人	3月	100人						
後援者名・協賛者名等											

平成27年度 事業報告書

事業名	自主制作舞台「HAPPY」								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	チラシ、ポスターによる告知。コラニー文化ホールの情報誌、ホームページへの掲載。公演会場の桃源文化会館の広報ツールによる告知。南アルプス市内の文化団体を通してのPR。		
主催・共催状況	単独主催 (共催あり (共催先:桃源文化会館 ) )										総事業費	2,690,000円
事業の概要 (出演者など)  桃源文化会館	2014年に文化ホールのオリジナル作品として制作した芝居、音楽、ダンスのコラボレーションステージ「HAPPY」を南アルプス市の桃源文化会館で再演。作・構成・舞台を文化ホールスタッフで行い、県内で活躍するミュージシャン、俳優、ダンサーをキャストに制作した作品。再演では、パイプオルガンを演奏に取り入れるなど桃源文化ホールに合わせ、作品を一部改訂した。県公立文化施設協議会の枠組みを生かし、桃源文化会館との共同制作。								入場料収入			
事業実施状況 3月26日	(具体的な実施状況)								助成金・補助金等			
	2015年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	その他収入			
				桃源文化会館と共同制作	作品の一部改訂作業 使用楽曲構成検討 桃源文化と共同制作合意			ダンスキャスト稽古開始	自己財源			
	9月	10月	11月	12月	2016年 1月	2月	3月	問題点	参加者・観客の反響	昨年コラニー文化ホールの自主作品として制作、公演した作品を県公立文化施設協議会のネットワークでアウトリーチしたもの。再演であり、出演者は、充実した演技、演奏をすることができた。来場者も芝居とダンスとチャイルドフォンドのライブ演奏とを融合させた舞台を賛賞する声が多く寄せられた。		
入場者・参加者の数	目標入場者 400人	(内訳)			出演者	23人	スタッフ		15人	入場者	600人	実演後の感想及び今後の活動
後援者名・協賛者名等									文化を活性化の場としての活用	文化を活用した地域の活性化や、地域間のネットワークづくりとして各ホールの作品を活用することが意味のあることだと考えている。国が提唱する「新たな広場としての劇場・音楽堂」を実現するためにも県公立文化施設協議会の連携を強化して行く。		

